

業界初！槽内洗浄装置

特許・実用新案出願中

アイソトープ排水貯留槽の清掃、除染を自動化しました。
錆なし、臭いなし・・・おまかせください。



慶應義塾大学医学部R1排水設備

従来槽内の清掃・除染作業は作業者が槽内に入っていますので、様々な問題が発生し、施設管理者の負担が少なくありませんでした。こうした問題を解決すべく、当社が独自に開発を進めてきました槽内自動洗浄装置をご紹介します。

この装置を設置することは以下の利点があります。

- ①施設管理者の方がスイッチ一つで簡単に槽内の自動洗浄ができますので、槽内に入っている清掃・除染作業が不要になります。従って作業者の被ばく量増加、菌による感染の心配がなくなります。
- ②自動洗浄ですので、貯留槽清掃作業に必要なコストを削減することができます。
- ③洗浄回数が多くなりますので、貯留水の腐敗によるガスの発生がなくなり、悪臭対策に役立ちます。
- ④タンク内の錆による劣化を防ぎ、耐用年数をのばせます。

《設置例紹介》

この度、慶應義塾大学医学部様のR1排水設備の改修工事で、本洗浄装置及び耐震設計の排水設備を設置しました。

- ①槽の形状を円筒形として、洗浄効果を高めると同時に、角形パネル槽に比べ強度を格段に上げました。
- ②全ての排水管、電気管の基礎ピットと槽の間や槽と槽の間をフレキシブル配管で接続し、地震時の揺れを吸収して配管の破断を防ぐことができます。
- ③震度5以上の地震の際には動力電源のみを自動的に遮断することができます。
- ④基礎ピット及び槽の耐震設計は震度7を想定しました。

この様に災害時のアイソトープの漏れを防ぐなど、周辺環境にやさしい設備を作るのが私たちの目標です。